

Ⅱ 教育研究助成 2

(公財) 日本教育公務員弘済会山口支部

令和 5 年度 教育実践研究論文助成事業 募集要項

1 助成の対象	学校教育の向上発展に寄与する優れた教育実践研究論文を対象																
2 応募論文	原則として公的機関、研究会、市販図書・教育誌等に発表していないものや他団体へ応募していないものとします。 ※応募された中で優れた論文を当会本部主催の日教弘教育賞等へ推薦していますが、他へ発表・応募があるものについては推薦できません。																
3 募集対象	論文は①学校部門(団体を含む)②個人部門(研究グループを含む)の 2 部門とします。 ① 学校部門 国・公・私立の幼・小・中・高・特別支援・高専等の各学校及び教育機関等並びにそこに勤務する教育関係者で組織する教育研究団体 ② 個人部門 上記の学校や教育機関等に勤務する教育関係者個人及びそれらの人々で組織する研究グループ等 ※ 教育関係者とは山口県内に設置された国・公・私立の学校、その他の教育機関に勤務する教職員及びこれに準ずる者、またはこれらの退職者。 ※ 各学校及び各教育研究団体、各個人及び各グループそれぞれ 1 論文のみ申請可能です。 ※ 学校部門は校長が応募者となります。【8 応募方法】を参照 してください。																
4 助成金額	<table border="1"><thead><tr><th colspan="2">学校研究：最高 10 万円</th><th colspan="2">個人・グループ研究：最高 5 万円</th></tr><tr><th>令和 4 年度実績</th><th>学校研究</th><th>個人研究</th><th>グループ研究</th></tr></thead><tbody><tr><td>応募数</td><td>68</td><td>65</td><td>4</td></tr><tr><td>助成金総額</td><td colspan="3">766 万円</td></tr></tbody></table> ※助成金交付後の成果報告・会計報告等は求めません	学校研究：最高 10 万円		個人・グループ研究：最高 5 万円		令和 4 年度実績	学校研究	個人研究	グループ研究	応募数	68	65	4	助成金総額	766 万円		
学校研究：最高 10 万円		個人・グループ研究：最高 5 万円															
令和 4 年度実績	学校研究	個人研究	グループ研究														
応募数	68	65	4														
助成金総額	766 万円																
5 応募期限	令和 5 年 8 月 23 日 (水) 必着厳守																
6 論文提出先 推薦書兼助成申請書・論文ともに郵送(メール添付受付不可)	〒745-0041 周南市戎町 2-3 (公財) 日本教育公務員弘済会 山口支部 ☎0834-21-8083 ※ 論文様式等は【8 応募方法】を参照してください ※ 論文は推薦書兼助成申請書を上にして一緒に左上をステプラで留めてください(クリップ留不可) ※ ご不明な点等は電話にてお問い合わせください																
7 スケジュール	令和 5 年 9 月下旬に当会委嘱の教育実践研究論文審査会を行います。 特に優れた論文を当会本部主催の日教弘教育賞または東京海上日動教育振興基金論文助成へ推薦します。 該当校及び該当者へは審査会終了後に連絡します。 令和 5 年 10 月中旬頃より助成金を交付します。(原則学校で手交します)																

8 応募方法	<p>① 研究主題 論文の主題は、「学校の実態を踏まえ、明日の教育を考える」という立場から応募者が具体的な研究主題を決めて実践研究した内容を論文にまとめることとします。</p> <p>② 用紙及び論文量 論文の作成は原則としてワードを使用してください。 指定の原稿用紙はありません。 下記様式のとおりに設定の上【ア・イ】を提出してください。 ※【ア・イ】は各2部(1部はコピーしたもの)を提出してください。</p> <p>ア 教育実践研究論文推薦書兼助成申請書 (所属長による推薦) 論文に添付して提出してください。(令和5年度のものを使用)</p> <p>イ 論文 様式は24字×43行×2段組×A4判4ページ横書きとします。 本文の他、この中に研究主題・執筆者(学校部門は校長)の記載欄(24字×6行×2段組)及び図表・写真等の資料を含みます。 ※ア・イ(ひな型)および要項は山口支部HPよりダウンロードしてワード作成ができます 日教弘山口支部 Q検索</p> <p>③ 論文の書き方 ◎ 論文は横書きとします。 ◎ 文字は常用漢字、現代かなづかいを使用してください。 ◎ 本文1ページ目の6行(段組み左右)を用い研究主題・執筆者を印字してください。</p> <p>④ 小見出しや文章の書き出しの前は、ひとマスあけてください。</p> <p>⑤ 図表・写真等の資料の留意事項 A4判1ページ程度以内の分量に収め、本文の中に貼り付けまたはデジカメ等で取り込んだものにしてください。 ※学校部門は校長が応募者となりますが、他に校長以外の担当者(執筆責任者・執筆担当者等)がいる場合は、論文の文末に記載することができます。 (例 執筆責任者 教諭 ○○ ○○)</p>
9 研究収録 (参考用)	令和5年度4月に学校へ送付予定の「 令和4年度日教弘教育賞教育研究集録 」の論文をご覧になり、様式全体の参考(レイアウトの関係で字数等が若干相違している場合があります)にしてください。当会本部HPからもご覧になれます。
10 注意事項	様式等に不備がある状態での応募は審査対象外となることがあります。 応募された原稿の著作権は(公財)日教弘・山口支部及び推薦先に属します。
11 備考	<p>応募論文の中から特に優れたものを下記へ推薦します。</p> <p>◎日教弘教育賞【後援：文部科学省】 学校研究:50万円(最高) 個人・グループ研究:30万円(最高) ただし過去5年以内(平成30年度～令和4年度)の受賞校・受賞者は学校部門・個人部門を問わず推薦できません。事前の確認はしますが、推薦後に公的機関・研究会・市販図書・教育誌等に既に発表したもの及び他団体応募ずみとみなされた論文は推薦取消となる場合があります。</p> <p>◎東京海上日動教育振興基金 学校研究:10万円 個人・グループ研究:5万円</p>

※提出された論文の返却はいたしません。※個人情報の取扱いについては当会の規約に準じます。